

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		学校開放施設の団体・区民利用等		款	7	項	5	目	1	事業	4	整理番号	541	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	管理係(学校開放担当)		連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	536			
上位施策No・施策名		60 地域への学校開放		予算事業区分							既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 社会教育法第44, 45, 47, 48条 (2) スポーツ振興法13条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、学校施設を活用することで、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚及び区民の自主的活動を活発にする。						活動指標名(式)	(1) 遊びと憩いの場開放日数 (2) 学校開放登録総数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区立小中学校施設を児童及び生徒が使用していない時間に、区民等に、スポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として提供する。 ○地域住民の交流のため、自主運営団体である利用者団体協議会が主体となって地域運動会、スポーツ大会及び公開講座等を行う。						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
	成果指標名(1)	遊びと憩いの場利用者数						算定式・指標の説明等	遊びと憩いの場を利用した者の人数					
	成果指標名(2)	利用者団体協議会行事実施数						算定式・指標の説明等	行事実施数					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	人	5,713	6,000	5,530	6,000	5,554	6,000	92.6				
	活動指標(2)	②	人	19,052	22,000	18,978	22,000	18,989	20,000	86.3				
	成果指標(1)	③	人	167,637	180,000	174,225	180,000	162,837	180,000	90.5				
	成果指標(2)	④	回	37	70	41	70	37	50	52.9				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	91,537	102,651	92,329	92,660	88,082	95,308	22年度予算執行率% 95.1				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	28,898	35,073	30,129	31,282	30,384	34,553					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.17 2.00	3.00 2.00	3.20 2.00	3.00 2.00	3.18 2.00	3.00 2.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	28,689	26,637	28,413	26,760	28,366				26,760	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	5,600	5,586	5,586	5,900	5,900				5,900	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	125,826	134,874	126,328	125,320	122,348	127,968					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	22,025	22,479	22,844	20,887	22,029	21,328					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	125,826	134,874	126,328	125,320	122,348	127,968					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 541

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				学校開放指導員謝礼	5554
		学校開放に伴う光熱水費			20,491
		プール開放運営委託費	17	校	17,201
		学校施設維持管理費			15,886
		その他 (光熱水費、医薬品・遊具ほか)			10,137
	(2) 事業実績	年間で延べ949,028人の利用者が、学校施設を活用してスポーツ活動や文化活動を行うことができました。 学校開放連合協議会のインディアカ大会、各ブロックや利用者団体協議会のスポーツ大会、地域運動会の開催、学校行事や学校支援本部の活動への利用者団体協議会の参加などを通じ、学校を中心とした地域コミュニティの活性化に貢献しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	ほぼ現行の学校開放の形態となった昭和61年度と平成22年度との対比 「遊びと憩いの場」開放日数4,953日⇒5,554日 利用人員282,892名⇒162,837名 「団体開放」登録団体数415団体⇒747団体 利用人員307,493名⇒774,904名
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	クラブ活動の拡充等学校使用の増加により登録団体の利用できる時間が減少しているため、特に校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。また遊びと憩いの場については実施日数の拡大の要望も出されています。 騒音や喫煙、プライバシーの保護等近隣住民からの苦情が寄せられています。
今後の予測	生涯スポーツ、文化活動の要求は今後さらに大きくなっていくと思われまます。 また、学校施設ではあっても近隣住民への影響は最小限にして欲しいといった意識の変化もあり、騒音や喫煙等への苦情が増えています。
評価と課題	年間100万人近い区民が学校開放事業を活用しており、区民のスポーツ、文化活動の充実に貢献しています。今後は、利用できる時間の減少が予想されるなか複数の団体の同時使用など、利用方法の工夫が必要になってくると思われまます。 また、校舎の改築時には、防音や近隣住民のプライバシーを保護する構造にするなど、地域住民に配慮した視点がより必要となってきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
遊びと憩いの場事業は、現在水・土・日曜日に実施していますが、毎日実施してほしいとの要望も寄せられています。他の曜日の授業時間の問題や放課後子ども教室など他の事業との調整を図りながら、実施回数の増加に向けて検討していきます。 また、指導員に対しては、毎年実施している研修の内容の工夫や個別の話し合い等により、利用者の安全の確保や遊びの指導の充実等により有意義な時間を過ごせるよう努めることなど、業務内容の徹底を図ります。 全小中学校に設置されている学校支援本部との連携により、遊びと憩いの場や学校施設の利用調整等の実施方法の見直しを進めます。 プール開放事業については、学校によって利用人数に大きな差があります。PR等により利用者の増を図るとともに他のプールの設置状況や交通の便等を調査の上 実施校の見直しを進めます。			

特記事項	
------	--